

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

年頭安全祈願



滋賀：建部大社

各事業場（所）において、地元の神社、寺院に参拝し、年頭の安全祈願を行いました。

滋賀では役員と安全衛生委員会メンバーが建部(たけべ)大社に、愛媛では愛媛事業場と松前事務所が合同で玉生八幡大(たまうはちまんだい)神社に、福井では三国成田山に、石川では白山比咩(しらやまひめ)神社にそれぞれ参拝しました。

この一年、全従業員・関係者が健康で安全に働けるよう祈願するとともに、改めて労働災害ゼロ・交通事故ゼロ達成を誓いました。
(担当部署:安全管理部 Tel:077-534-0956)



愛媛：玉生八幡大神社



福井：三国成田山



石川：白山比咩神社

プレハブ配管施工について

施設事業部

施設事業部では、一部の用役配管敷設工事において**プレハブ配管施工**を採用しています。

プレハブ配管施工とは、工場で配管部材を設計図に基づいて精密に加工・組み立て（プレハブ化）し、現場ではユニットとして搬入・設置する工法です。

現在、東レエンジニアリングの調達部と東レエンジニアリンググループの連携を強化し、パートナー協力会社でのプレハブ加工・材料支給を実施しており、東レエンジニアリンググループ全体で**配管プレハブ製作と施工**を推進しています。

プレハブ配管のメリット

- 現場での加工が不要または最小限となり、
作業時間を大幅に削減
- 材料ロスを極力なくし、**コストを抑制**
- 工場で加工するため、**品質が均一で安定**
- 継手部の溶接不良による不具合を**最小限に抑制**

さらに、**配管だけでなく装置のユニット化や3D設計**を取り入れ、建設・改修工事において

- 高精度
- 低コスト
- 短納期
- 現場作業の効率化と安全性向上

を目指した施工管理に取り組んでいます。



二十歳を祝う会開催

今年度、二十歳を迎えた社員を囲み上司と共に、お祝いの会を開催しました。2024年度に入社し、滋賀と愛媛に配属された5名に、それぞれ上司からお祝いの言葉と記念品が贈られました。引き続いて開催された昼食会では、二十歳を迎えた社員が今後の抱負を述べるなど、二十歳の門出にふさわしい会となりました。
(担当部署：総務部077-534-0956)

滋賀事業場

これまで支えてくださったご家族や友人への感謝を胸に、これからは自分の力で未来を切り開き、輝かしい未来を築いてください。



失敗を恐れず挑戦して、人への感謝も忘れず、少しずつでも挑戦していきます。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

社会人としてより一層責任感を持ち、ひたむきに業務に取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

愛媛事業場

これまで支えてくれた方への感謝の気持ちを忘れず、何事にも真摯に取り組み、常に向上心を持って着実に成長することを期待しています。

成人おめでとうございます。これからが本番です。何事も熱意を持って、本気でチャレンジしてください。



これまで支えてくださった方々への感謝を忘れずに日々精進していきます。

今まで支えて頂いた方々に感謝するとともに、大人としての自覚を持って日々精進していきたいと思います。

ここまで育ててくれた両親・関わってきた沢山の方々に感謝の気持ちを忘れず、社会人として自覚と責任を持ちこれから日々成長していきます。

タイトル：『D X 活用による業務効率化と動画マニュアルによる技術継承』

報告部署：愛媛保全事業部 テトロンメンテプロサークル

担当業務：東レ愛媛工場 製糸工程の設備保全業務



背景

事業部の GT 活動指針：「D X 活用による業務効率化の推進」
「動画マニュアルによる技術継承」に取り組むにあたり、
問題点をピックアップ

問題点

1

工程安定化・安全性・品質維持に重要な役割の点検業務について検討

- 点検記録を、現場で紙に手書きし、事務所に戻ってパソコンに入力している
 - ・記入ミス、記入漏れ
 - ・点検結果の共有に時間がかかる
 - ・人によって点検の質にばらつきがある
 - ・点検結果の承認に時間がかかり、業務が止まる

改善

1

1. 点検結果表の見直し Excel で点検結果表を作成

- ・フォーマットの見直し
- ・Excel の機能活用
 - ・点検結果の入力をプルダウンで選択
 - ・選択した点検結果に応じてセルに自動着色 など

判定結果の見落とし防止、入力時間短縮、点検漏れ防止、
記録用紙のペーパーレス化

2. タブレットの活用

現場で Excel の点検表に入力することで、時間短縮

3. Excel のマクロと BoxRelay の活用

承認依頼の効率化に向けて、一連の承認フローの自動化を試行中！

問題点

2

技術継承における問題点

- ・ベテランの退職に技術継承不足
 - ・技術継承不足による保全ミス
 - ・属人化している作業がある
 - ・O J T 機会の減少
- 教育コンテンツの充実が必要

改善

動画で作業マニュアルを作成！

苦労した点 ・業務と並行して、作成時間の確保

- ・客観的視点での作成
- ・撮り直しが必要（暗い、手振れ） など

試写を実施し、メンバーの意見を取り入れブラッシュアップ！

- ・ナレーションの追加
- ・字幕の色分け（説明文・ポイント箇所） など

期待効果

指導者側

O J T 時間削減

負担軽減

作業の最適化（見直す機会）

受講者側

理解度向上

O J T 時間削減

復習の機会が増える

今後の課題

- ・承認フロー停滞時の自動再通知の設定
- ・動画マニュアルの作業動画撮影時間確保
- ・動画マニュアル作成の属人化防止

小さなことでもコツコツとサークル全員で取り組んでいきます！

タイトル：『外部大型プラント工事での施工管理DX化について』

報告部署：プラント事業部 シリコンサークル

担当業務： 外部お客様工場のプラント建設



DX 事例
1

安全書類の作成について 「Greenfile」

機能：従業員をマスター登録しておくことで、安全書類（施工体制台帳、作業員名簿）が自動で作成される。

- 効果 ①協力会社から提出される書類の完成度の向上（不備の早期発見）
②書類作成担当者とのやり取りの簡素化（Greenfile 内でコメントの送受信ができる）
③書類作成の進捗管理の効率化（作成中、提出済みなど進捗が表示される）

今後の活用

- ・重機、車両使用届など他の書類にも活用の幅を広げたい。
- ・事業部全体で活用を広げ、事業部全体の DX 化を進めたい。

DX 事例
2

新規入場者教育「Real Narrators」

パワーポイントで作成した資料に、合成音声のナレーションをつけて、動画を再生することができる。新規入場者教育に活用。

- 効果 ①教育の統一性（ベースの資料に、現場ごとの変更を追記・修整することをルール化）
②指導者による教育内容の差がなくせる。
③大型モニターとの併用で同時に複数の作業員への教育が可能

今後の活用

- ・特定の作業員への教育
- ・危険作業の対象者への教育

DX 事例
3

現場管理「SPIDERPLUS」

図面・写真などを一元管理が可能。図面と写真を紐づけて記録できる。

- 効果 ①施工中の写真の効率的な管理
②検査記録作成への活用
③協力会社との情報共有（打ち合わせ後の資料、パトロール後の指摘事項の発信）

今後の活用

- ・スマホ、タブレットで双方向のやり取りができるので、さらに活用を推進し効率化

DX 事例
3

熱中症対策「暑熱バンド」

腕時計のように手首に着けることで、深部体温を測定し、熱中症の予兆をアラートで知らせるもの

- 課題 ①屋外では直射日光の影響で、アラート頻発→柔軟な対応が必要
②ベルトの耐久性が弱く、作業中に破損。また充電スペースも必要。
③暑熱バンドからの振動が作業に影響すること

今後の活用

- ・安全で効率的な作業には、デジタルツールの活用と柔軟な運用が不可欠。
- ・様々な種類のツールがあるので、検討して使用していきたい。